

北関東と東関東の連携交流に寄与する事業



R3東関道中根地区下部その1工事

東関東自動車道水戸線は、常磐自動車道三郷JCTから北関東自動車道茨城町JCTの143kmうち、潮来から鉾田までの30.9kmを結ぶ。高速ネットワークを形成することで、鹿島港、成田国際空港、茨城空港へのアクセス向上と、災害時の代替路線を確保し、北関東地域と東関東地域の連携交流に寄与する事業である。

本工事は、潮来～鉾田間の中間付近に位置し、ため池を越えるための橋梁下部（橋台1基）を築造した工事である。



完成写真

工事概要

工事名	R3東関道中根地区下部その1工事
工事場所	茨城県行方市中根地内
工期	令和4年4月1日～令和5年8月31日
発注者	国土交通省 関東地方整備局 常総国道事務所
工事内容	<ul style="list-style-type: none"> 橋梁下部 場所打杭工(φ1,200)L=27.5m 15本 橋台躯体工(T型橋脚)1基 仮橋・仮栈橋工1式 土留・仮締切工1式 道路土工 掘削ICT18,000m³ 盛土ICT1,000m³ 土砂運搬17,000m³ のり面整形1式



橋台工施工状況



場所打ち杭施工状況

担当者の声

施工箇所周辺は、絶滅危惧種に指定されているサシバやオオタカの生息が確認されているほど自然豊かで、工事箇所のため池の水は農業用水に使用されていることから、水質汚濁、環境等に配慮する必要性がありました。

また、工事車両の運行経路は道路幅員4mのため、車両のすれ違いが出来ないことから誘導員の配置を余儀なくされ、併せて周辺が農地であるため、農耕車等に十分配慮しながらの運行となりました。

現場に乗り込んだ時点では先行工事が遅延しており、いつになれば工事が開始できるのか懸念されましたが、発注者との密な打合わせにより、当社主導で工事用道路の施工を円滑にでき、工事を進めることができました。また、橋台の構築は全て栈橋からの施工となり、高低差が10m程度あるため注意が必要な現場でしたが、無事に工事を完成することができ、発注者から難工事功労表彰を頂くことができました。



茨城本店 土木部

竹本恒範 (所長)

大和田 諄

布施 龍